

令和4年度～5年度 各課等の環境目標及び実績一覧表
 ※ 基準達成度100%以上◎ 80%以上○(適合) 80%未満●(不適合)

課No	部	担当課等	目標	基準となる数値等	目標	実績	判定	備考	
		総合政策課	R4	会議のペーパーレス化	ペーパーレス化による経費の削減量及び労働時間の減少量	ペーパーレスによる会議の実施及び紙資料を使用している会議のペーパーレス化	年間予定通りに実施することが出来た。	◎	
		R5	会議のペーパーレス化	ペーパーレス化による経費の削減量及び労働時間の減少量	ペーパーレス化による経費の削減量及び労働時間の減少量				
		行政経営課	R4	改善事例の応募件数の増加	改善事例応募課数等:55課 改善事例応募件数:110件 職員提案の周知回数:9回	応募課数等:55課 応募件数:110件 周知回数:9回	応募課数等:52課 応募件数:84件 周知回数:5回	○	
		R5	統計調査におけるオンライン回答率の向上	オンライン回答率40%	オンライン回答率40%				
		財政課	R4	財政課所管の補助金及び交付金並びに市債事務において、事業所管課との情報共有を徹底する。	補助金事務の情報共有:4回程度 年交付金事務の情報共有:4回程度 年市債事務の情報共有:4回程度 年計12回程度/年	補助金事務の情報共有:4回程度 年交付金事務の情報共有:4回程度 年市債事務の情報共有:4回程度 年市債事務の情報共有:4回程度	概ね予定どおりに実施することができた	◎	
		R5	財政課所管の補助金、交付金及び市債事務において、事業所管課との情報共有を徹底する。	補助金事務の情報共有4回程度 年交付金事務の情報共有5回程度 年市債事務の情報共有4回程度 年計13回程度/年	補助金事務の情報共有4回程度 年交付金事務の情報共有5回程度 年市債事務の情報共有4回程度 年市債事務の情報共有4回程度				
		広報広聴課	R4	広報はだのに啓発記事を掲載デジタル版広報はだなの作成	啓発記事の掲載回数:23回	23回	23回	◎	
		R5	広報はだのに啓発記事を掲載デジタル版広報はだなの作成	・啓発記事の掲載回数・当初目標:23回	啓発記事の掲載回数 当初目標:23回				
		秘書課	R4	公用車稼働回数を減らすためのミーティング(日程調整等)	ミーティング回数:24回	24回	27回	◎	
		R5	公用車稼働回数を減らすためのミーティング(日程調整等)	・ミーティング回数 当初目標24回	ミーティング回数 当初目標24回				
		文書法制課・選挙管理委員	R4	紙の使用量の削減	紙の使用量:24,800㍻	紙の使用量 24,800㍻	紙の使用量 20,908㍻	◎	
		R5	紙の使用量の削減	・紙の使用量20,800㍻	紙の使用量20,800㍻				
		人事課	R4	働き方の見直しによる時間外削減施策の実施	時間外勤務の抑制をするため、月の時間外勤務時間数が80時間を超える可能性のある職員が所属する課の管理職に対して、業務の割り振り等について助言や注意喚起を行う	年12回	年12回	◎	
		R5	働き方の見直しによる時間外削減施策の実施	時間外勤務を抑制するため、長時間勤務が継続する可能性のある職員の所属長に対して、業務の割り振り等について助言や注意喚起を行う	月1回年12回				
		財産管理課	R4	公用車の低公害車導入を進める	低公害車の導入台数目標数値:8台	8台	8台	◎	
		R5	公用車のハイブリッド自動車及び電気自動車導入を進める	ハイブリッド自動車及び電気自動車の導入台数目標数値:4台	4台				
		デジタル推進課	R4	ペーパーレス会議の実施回数	電子資料に置き換えた会議の回数を評価指標とする。	4回	4回	◎	
		R5	ペーパーレス会議の実施	電子資料に置き換えた会議数を評価指標とする。	5回				
		契約検査課	R4	グリーン購入の推進(契約担当)	グリーン購入率:100%	100%	100%	◎	
		R4	工事写真の電子納品化の促進による省資源化(検査担当)	契約金額500万円以上の工事の完成検査において、工事写真を電子納品で提出した工事の割合当初目標50%	契約金額500万円以上の工事の完成検査において、工事写真を電子納品で提出した工事の割合当初目標50%	44%	○		
			R5	グリーン購入の推進(契約担当)	グリーン購入率当初目標100%	グリーン購入率当初目標100%			
		R5	工事写真の電子納品化の促進による省資源化(検査担当)	契約金額500万円以上の工事の完成検査において、工事写真を電子納品で提出した工事の割合当初目標50%	契約金額500万円以上の工事の完成検査において、工事写真を電子納品で提出した工事の割合当初目標50%				
		市民税課	R4	電子申告の推進	PR回数:1回(HPによる常時PRを除く。)	1回	1回	◎	
		R5	電子申告及び電子納税の推進	・PR回数当初目標2回(HPによる常時PRを除く。)	PR回数当初目標2回(HPによる常時PRを除く。)				
		資産税課	R4	パソコン等の通信設備の整備に努める。	申告数に対する電子申告の割合:40%にする。	40%	40%	◎	
		R5	パソコン等の通信設備の整備に努める。	申告数に対する電子申請の割合を41%にする。	申告数に対する電子申請の割合を41%にする。				
		債権回収課	R4	SMS(ショートメールサービス(以下SMS))の有効利用	令和4年度SMS催告件数に対する反応件数35%を目標とする	①催告件数:2,400件 ②反応率:35%	①催告件数:1,522件 ②反応率:26%	●	SMSによる詐欺が横行していたため、SMSを送る職員は消極的に、受け取る市民は警戒的になっていた。
		R5	SMS(ショートメールサービス(以下SMS))の有効利用	令和5年度SMS催告件数に対する反応件数30%を目標とする	令和5年度SMS催告件数に対する反応件数30%を目標とする				
		市民活動支援課	R4	秦野市自治会連合会のICT活用に向けた支援	自治会からの申請件数:利用率20%	20%	10.8%	●	電子申請の仕方がわからない人が多いことや申請書は電子申請が可能であるが、請求書は押印した原本の提出が必要であることから、窓口での提出を求めており、完全な電子化に至っていないことが理由として挙げられる。
		R5	秦野市自治会連合会のICT活用に向けた支援	・自治会の電子申請利用率20%	・自治会の電子申請利用率20%				
		地域安全課	R4	市営自転車駐車場利用希望者全員の承認	利用申請件数に対する承認者数:100%(全員を承認)	1	概ね達成できた	○	
		R4	防犯出前講座及び防犯啓発活動の推進(新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、減少見込み後の目標数を設定した。)	・出前講座の開催回数(R元年度実績29回、R2年度実績4回)・各啓発活動の参加人数平均(R元年度 実績約63名、R2年度実績16名)	①10回 ②20名以上	①12回 ②22名	◎	新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、自治会等からの依頼が減少したため、目標は達成できなかった。	
			R5	市営自転車駐車場利用希望者全員の承認	利用申請件数に対する承認者数100%(全員を承認)	利用申請件数に対する承認者数100%(全員を承認)			
		R5	防犯出前講座及び防犯啓発活動の推進	出前講座の開催回数(R3年度実績6回、R4年度実績12回)各啓発活動の参加人数平均(R3年度実績20名、R4年度実績22名)	出前講座の開催回数(R3年度実績6回、R4年度実績12回)各啓発活動の参加人数平均(R3年度実績20名、R4年度実績22名)				
		防災課	R4	防災備蓄品の有効活用	液体ミルク:20箱(1箱24食) 離乳食:12箱(1箱24食)	液体ミルク:20箱 離乳食:12箱	液体ミルク:20箱 離乳食:12箱	◎	
		R4	防災備蓄品の有効活用	当初目標アルファ化米 12850食1食あたり100g	①アルファ化米 12850食 ②1食 100g	①アルファ化米 12850食 ②1食 100g	◎		
			R5	防災備蓄品の有効活用	当初目標液体ミルク20箱(1箱48食)離乳食12箱(1箱24食、32食)	当初目標液体ミルク20箱(1箱48食)離乳食12箱(1箱24食、32食)			
		R5	防災備蓄品の有効活用	当初目標アルファ化米13,650食1食あたり100g	当初目標アルファ化米13,650食1食あたり100g				
		戸籍住民課	R4	個人番号カードの普及促進のため、「広報はだの」へ情報の掲載による普及啓発を4回行う。	掲載回数:4回	4回	10回	◎	
		R5	個人番号カードの普及促進のため、商業施設による出張申請を6回実施	掲載回数:4回	6回				
		市民相談人権課	R4	エンカ消費の普及・啓発の取組を積極的に進行		2回	2回	◎	
		R5	エンカ消費の普及・啓発の取組や意識向上に繋がる周知を積極的に		2回				
		ほうらい会館	R4	施設内での使用水量の削減	平成30年度実績(588m)を基準に館内使用水量を削減する。 令和4年度1.5%減、令和5年度2%、令和6年度2.5%減(573m)とする。	576.2	519	◎	
		R5	施設内での使用水量の削減	平成30年度実績(588m)を基準に館内使用水量を削減する。令和5年度2%減、令和6年度2.5%、令和7年度3%減(570m)とする。	2%減				

令和4年度～5年度 各課等の環境目標及び実績一覧表
 ※ 基準達成度100%以上◎ 80%以上○(適合) 80%未満●(不適合)

課No	部	担当課等	目標	基準となる数値等	目標	実績	判定	備考
#		生涯学習課	R4	目標各種講座等や親子川柳大会事業の電子申請に係る事業等の件数	評価する指標電子申請事業等の件数:13件	13件	11件	○
		R5	各種講座等や親子川柳大会事業の電子申請に係る事業等の件数の増	電子申請事業等の件数・目標12件	12件			
#		生涯学習課 文化財・市史 担当	R4	環境関連事業の実施(年間6回)	年間実施回数 (6回/年)	年6回	6回	◎
			R4	環境関連事業の実施(年間3回)	年間実施回数 (3回/年)	年3回	3回	◎
			R5	環境関連事業の実施(年間5回)	年間実施回数 (6回/年)	年間実施回数 (6回/年)		
			R5	環境関連事業の実施(年間3回)	年間実施回数 (3回/年)	年間実施回数 (3回/年)		
#		西公民館	R4	・環境講座及びリサイクル講座等の開設・施策の実施	環境講座等の開設数	年8回	8回	◎
			R5	・環境講座及びリサイクル講座等の開設・施策の実施	環境講座等の開設数	年8回	8回	
#		上公民館	R4	環境講座等の開設	環境講座等開設数	年7回	6回	○
			R5	環境講座等の開設	環境講座等開設数	年間7事業		
#		南公民館	R4	環境保護啓発の講座4回開催。(湧水めぐり、ホテル視察会、落ち葉アート教室、史跡めぐり等)	新型コロナウイルスの状況を見ながら可能な限り、予定している講座8回を実施する。	4回	4回	◎
			R5	OMOTANでの環境保護啓発の講座5回開催。(登山、ハイキング、ブルーベリー摘み取り、雑草の植菌)	予定している講座5回を実施	予定している講座5回を実施		
#		北公民館	R4	・環境教育の普及	環境教育講座の開催	1回	コロナで中止	●
			R5	・環境教育の普及	クリーンセンター見学会の参加人数 環境学習の機会の提供(関連図書 の配置やパネル展示)	クリーンセンター見学会の参加人数 環境学習の機会の提供(関連図書 の配置やパネル展示)		
#		大根公民館	R4	環境講座等の実施	環境関連講座等の数:8件	8件	8件	◎
			R5	自然環境に係る事業、健康増進を促す事業の実施	関連事業の数9件	関連事業の数9件		
#		東公民館	R4	環境講座等の開設	計画する講座の開催件数:6件	6件	5件	○
			R5	環境講座等の開設	計画する講座(6件)の開催件数	年4回		
#		鶴巻公民館	R4	効果的な事業の実施		12回	11回	○
			R5	効果的な事業の実施		年間開催年12回		
#		本町公民館	R4	生活地域における自然と環境に関する講座を年間を通して開催する。	計画講座の全開催:3件	3件	3件	◎
			R5	生活地域における自然と環境に関する講座の開催	計画講座の全開催	年4回		
#		渋沢公民館	R4	環境教育の推進	自主講座数	4回	開催2回 2回は雨天・曇天のため中止	●
			R5	環境教育の推進	自主講座数	年5回		自然観察は屋外事業であるため、雨天等により2回実施できなかった。屋外事業は雨天等の場合、中止は避けられない。
#		南が丘公民館	R4	環境関連講座の開催	自然環境観察・リサイクル講座の開設数	4回	12回	◎
			R5	環境関連講座の開催	自然環境観察・リサイクル講座の開設数	年12回		
#		堀川公民館	R4	環境学習の推進	環境関連事業の実施回数:年11回	年11回	10回	○
			R5	環境学習の推進	環境関連事業の実施回数年間16回	年16回		
#		スポーツ推進課	R4	スポーツ大会事業の実施	スポーツ大会事業の実施数:6大会	6大会	5大会 1回はコロナ接種期間のため中止	○
			R5	スポーツ大会事業の実施	スポーツ大会事業の実施数 目標数値:6大会	6大会		
#		文化振興課	R4	文化振興課主催事業と宮永岳彦記念美術館、はたの浮世絵ギャラリーの展示替えの充実	主催事業及び展示替え:14回	14回	14回	◎
			R5	文化振興課主催事業と宮永岳彦記念美術館、はたの浮世絵ギャラリーの展示替えの充実	主催事業及び展示替え予定数14回	14回		
#		図書館	R4	資料の除籍推進による、配架資料の見直し	除籍冊数 約7,000冊/年 (150冊/週ペース)	年7,000冊	年7,000冊	◎
			R5	資料の除籍推進による、配架資料の見直し	除籍冊数 約7,000冊/年 (150冊/週ペース)	除籍冊数 約7,000冊/年 (150冊/週ペース)		
#		地域共生推進課	R4	エコドライブの推進	今年度:9.7km/ℓ燃費(ガソリン1リットルあたりの走行距離)を毎年2%向上する。 【令和4年度実績10.7km/ℓ】	9.7km/ℓ	9.7km/ℓ	◎
			R5	エコドライブの推進	課内研修年2回	課内研修年2回		
#		生活援講課	R4	「保護のしおり」の見直し	令和4年度の生活保護申請件数により配布枚数を算出し、削減枚数を評価とする。	実申請件数と配布量との差	申請件数424件に対して212枚の配布まで削減できた	◎
			R5	食糧支援事業の実施	食糧支援事業の実施1回	食糧支援事業の実施1回		
#		障害福祉課	R4	クールシェルター施設や店舗の増加	クールシェルター施設の推進の実施1施設増加	1施設	39施設	◎
			R5	電子申請システムの導入	電子申請システムの導入	電子申請システムの導入		
#		高齢介護課	R4	相談支援事業所15事業所から17事業所に増やす。	相談支援事業所を17に増やす。	17事業者	17事業者達成	◎
			R5	・審査精度の向上に伴う、介護給付費支給の支給適正化及び業務量の削減	・過誤及び返戻件数3.0倍(10件/月→30件/月)・職員の業務従事時間の削減率△25%(40時間/月→30時間/月)	過誤及び返戻件数3.0倍(10件/月→30件/月) 職員の業務従事時間の削減率△25%(40時間/月→30時間/月)		
#		国保年金課	R4	国民健康保険税口座及び年金特徴加入率上昇	口座及び年金特徴加入率当初目標:62.1%	62.1%	62.5%	◎
			R4	後期高齢者医療保険料口座及び年金特徴加入率上昇	・口座及び年金特徴加入率 当初目標90.7%	90.7%	89.5%	○
			R5	国民健康保険税口座及び年金特徴加入率上昇	・口座及び年金特徴加入率当初目標62.7%	62.7%		
			R5	後期高齢者医療保険料口座及び年金特徴加入率上昇	・口座及び年金特徴加入率当初目標89.7%	89.7%		

令和4年度～5年度 各課等の環境目標及び実績一覧表
 ※ 基準達成度100%以上◎ 80%以上○(適合) 80%未満●(不適合)

部	担当課等	目標	基準となる数値等	目標	実績	判定	備考
#	子育て総務課	R4	小児医療費助成事業電子申請促進プロセス	電子申請の早期導入に向けて準備を進める。導入後は、電子申請利用者数について全電子申請利用者数について全申請の5%を目指す。	電子申請の早期導入に向けて準備を進める	令和5年4月1日から公開が可能	◎
		R5	小児医療費助成事業電子申請促進プロセス	電子申請利用者数について全申請の5%を目指す。	5%		
#	保育こども園課	R4	公立こども園保育支援システムの更なる活用を目指す。	2種類の書類について公立こども園保育支援システムでの定期配信に切り替える。	2種類の書類のシステム切り替え	少し導入が遅れたものの2種類とも切り替えを実施できた	◎
		R5	公立こども園の効果的な施設改修を行う	公立こども園における年間の電気使用量および請求金額の推移	公立こども園における年間の電気使用量および請求金額の推移		
#	こども家庭支援課	R4	個別ケース検討会議の充実	特に児童虐待のリスクが高い要保護児童等に対する個別ケース検討会議の開催割合(目標値:100%)	85%	94%	◎
		R4	乳幼児健診未受診者等の状況確認調査における確認対象児童への早	確認対象児童に対する状況確認の実施割合(目標値:100%)	100%	100%	◎
		R5	個別ケース検討会議の充実	特に児童虐待のリスクが高い要保護児童等に対する個別ケース検討会議の開催割合(目標値:95%)	95%		
		R5	乳幼児健診未受診者等の状況確認調査における確認対象児童への早	確認対象児童に対する状況確認の実施割合(目標値:100%)	100%		
		R4	令和4年度末までにPCBを適正かつ効率的に処分する。	PCBの処分に向けて、目標説明のとおりに進んでいるかを評価の指標とする。	PCB処分の事務手続き進捗状況	計画どおりに手続きを実施した	◎
#	こども育成課	R5	青少年の非行防止に努める。	市内パトロールの際の青少年への声掛けした人数			
		R4	がん検診・市民健康診査における受診率の向上のための電子申請数の	電子申請数の増加:令和4年度目標1,320件	1,320件	1504件	◎
#	健康づくり課	R5	がん検診・市民健康診査における受診率の向上のための電子申請数の	・電子申請数の増加令和5年度目標1,500件	1500件		
		R4	効率的かつ効果的な集団接種会場の運営により、公用車の使用削減に努める	集団接種会場運営日数に対する公用車の使用日数80%を目指す	80%	50%以下	◎
#	新型コロナウイルスワクチン接種推進課	R5	接種券及び予診票の様式を小児及び乳幼児を除き、令和5年春開始接種分から統一する	事業終了時に未使用の接種券及び予診票が減ることを目指す	事業終了時に未使用の接種券及び予診票が減ることを目指す		
		R4	エコスクールの実施	エコスクールの実施回数77回	77回	89回	◎
#	環境共生課	R4	くずはの家の自主事業の実施	・自主事業の実施回数 83回	83回	88回	◎
		R4	地下水浄化水量	①地下水浄化施設(1基)60,000m ³ ②地下水浄化施設(3基)180,000m ³	①60,000m ³ ②180,000m ³	①50,290m ³ ②182,483m ³	◎
#	環境資源対策課	R5	エコスクールの実施	・エコスクールの実施回数90回	90回		
		R5	くずはの家の自主事業の実施	・自主事業の実施回数85回	85回		
#	森林ふれあい課	R4	私有林の整備に当たり、里山保全ボランティアによる事業実施面積の拡大	①実施里山面積:40ha ②実施里地面積:3.77ha	①40ha ②3.77ha	①31.89ha ②3.46ha	○
		R4	水源の森林地域の整備面積拡大と水源林管理道整備	・森林整備面積 11.50ha・水源管理道整備 1,150m	83回	83回	◎
#	環境資源対策課	R5	私有林の整備に当たり、里山保全ボランティアによる事業実施面積の拡大	・実施里山面積55.98ha・実施里地面積 3.62ha	・実施里山面積55.98ha・実施里地面積3.62ha		
		R5	水源の森林地域の整備面積拡大と水源林管理道整備	・森林整備面積14.11ha・水源管理道整備 1,400m	・森林整備面積14.11ha・水源管理道整備1,400m		
#	環境資源対策課	R4	可燃ごみの焼却量を減らし、再使用やリサイクルを推進することで持続可能な循環型社会の形成を目指す	可燃ごみ量を秦野市ごみ処理基本計画に定める各年度の推計値を下回る量まで減量する。	36,699ト	33,185.58ト	○
		R4	緑豊かな自然環境ときれいで快適な生活環境を次世代へ継承する	市民を対象としたアンケートで「ボイ捨てのないきれいなまち」と思う方の割合を7割以上とする。	7割以上	0.64	○
#	生活環境課	R5	可燃ごみの焼却量を減らし、再使用やリサイクルを推進することで持続可能な循環型社会の形成を目指す	可燃ごみ量を秦野市ごみ処理基本計画に定める各年度の推計値を下回る量まで減量する。	70%		
		R4	緑豊かな自然環境ときれいで快適な生活環境を次世代へ継承する	市民を対象としたアンケートで「ボイ捨てのないきれいなまち」と思う方の割合を70%以上とする。	70%		
#	環境産業部	R4	狂犬病予防注射接種率の向上	注射接種率:70%	70%	81%	◎
		R4	家庭用小型合併処理浄化槽の普及台数増加	年間補助件数:2件	2件	2件	◎
#	環境産業部	R4	事業所排水調査及び違反時の改善指導の実施率	対象事業者の調査及び違反時の改善指導の実施率:100%	100%	100%	◎
		R4	ゴルフ場農業調査及び違反時の改善指導の実施率	対象事業者の調査及び違反時の改善指導の実施率100パーセント	100%	100%	◎
#	産業振興課	R5	狂犬病予防注射接種率の向上	注射接種率70パーセント	70%		
		R5	家庭用小型合併処理浄化槽の普及台数増加	年間補助件数3件	3件		
#	農業振興課 農業委員会	R4	事業所排水調査及び違反時の改善指導の実施率	対象事業者の調査及び違反時の改善指導	100%		
		R5	ゴルフ場農業調査及び違反時の改善指導の実施率	対象事業者の調査及び違反時の改善指導の実施率100パーセント	100%		
#	産業振興課	R4	地球温暖化対策に繋がる環境対応機器設備資金融資制度等のしおりを配布	配布冊数:500部	500部	500部	◎
		R5	地球温暖化対策に繋がる環境対応機器設備資金融資制度等のしおりを配布	配布目標500部	500部		
#	観光振興課	R4	西庁舎1階共用倉庫の整理を年に2回実施	整理実施回数 目標年度内に2回実施	年2回	年2回	◎
		R4	観光地の美化推進	良い問い合わせをプラス、悪い問い合わせをマイナスとして計算し、合わせて0以上を目指す。 市内の豊かな自然環境の保護と観光地等の不法投棄ごみ年間0を目指す。	良い問い合わせをプラス、悪い問い合わせをマイナスとして0以上を目指す	達成できず	●
#	弘法の里湯	R5	観光地の美化推進	観光地での事故発生件数0件を目指す。 市内の豊かな自然環境の保護と観光地等の不法投棄ごみ年間0を目指す。	観光地での事故発生件数0件を目指す。 市内の豊かな自然環境の保護と観光地等の不法投棄ごみ年間0を目指す。		
		R4	電気使用量の削減	利用者1人当たりの電気使用量	3.12kwh	2.48kwh	◎
#	はだの魅力づくり担当	R5	利用者1人当たりの電気使用量の削減	利用者1人当たりの電気使用量3.12kwh	3.12kwh		
		R4	構想の具現化に向けた関係各課との連携	関係各課との打合せ回数	各課との打ち合わせ回数	年間を通して連携を図れた	◎
#	はだの魅力づくり担当	R5	構想の具現化に向けた関係各課との連携	関係各課との打合せ回数	関係各課との打合せ回数		

令和4年度～5年度 各課等の環境目標及び実績一覧表
 ※ 基準達成度100%以上◎ 80%以上○(適合) 80%未満●(不適合)

課No	部	担当課等	目標	基礎となる数値等	目標	実績	判定	備考
#	#	まちづくり計画課	R4	秦野市景観形成基本計画の改定	秦野市景観形成基本計画改定の進捗状況	秦野市景観形成基本計画改定の進捗状況	◎	概ねスケジュールどおり改定できた
			R5	第8回線引き見直しに係る市案を作成する	・第8回線引き見直しに係る市案の作成に向けた確実な履行	5回		
#	#	都市整備課	R4	委託及び工事完成書類における電子納品化の推進	電子納品化率	52%	◎	52%
			R5	委託及び工事完成書類における電子納品化の推進	電子納品化率 当初目標65.9%	電子納品化率 当初目標65.9%		
#	#	交通住宅課	R4	二酸化炭素排出量の削減	前年度の実施事務事業の二酸化炭素削減量約55トン(落葉広葉樹約79本分の植樹量)を指標とする。	55t	○	50t
			R5	二酸化炭素排出量の削減	前年度の実施事務事業の二酸化炭素削減量約50トン(落葉広葉樹約71本分の植樹量)を指標とする。	前年度の実施事務事業の二酸化炭素削減量約50トン(落葉広葉樹約71本分の植樹量)を指標とする。		
#	#	開発指導課	R4	景観まちづくり条例に基づく良好な景観の形成	ふるさと秦野生活美観表彰候補件数10件	10件	◎	12件
			R5	昼休み時及び退庁時の不要な電気設備の消し忘れをしない。	退庁時のチェックリストにおけるチェック率100%	100%		
#	#	建築指導課	R4	屋外広告物法等を無視した屋外広告物(立て看板等)の除却を行う。	簡易除却数:70件	70件	◎	70件
			R5	屋外広告物法等を無視した屋外広告物(立て看板等)の除却を行う。	簡易除却数78件	簡易除却数78件		
#	#	公共建築課	R4	公共工事における環境配慮の実施	環境配慮を考慮した項目の実施率:92%	92%	◎	97%
			R5	公共工事における環境配慮の実施	環境配慮を考慮した項目の実施率92%	92%		
#	#	建設総務課	R4	道路アダプトの団体数の現状を維持する。	前年度の実績を維持する。	92%	◎	維持できた
			R5	各団体へ適切な支援を行い団体数の現状を維持する。	前年度の実績を維持する。	団体数24		
#	#	建設管理課	R4	計画的な舗装の打換えを行うことにより、安全で快適な通行の確保及び生活環境の改善を図る。	3か所の道路舗装工事		◎	年間予定のとおり3か所の工事を実施することができた。
			R5	計画的な舗装の打換えを行うことにより、安全で快適な通行の確保及び生活環境の改善を図る。		4路線		
#	#	道路整備課	R4	学校周辺の通学路や交通量の多い道路について歩道を設置するもの。	「秦野市交通バリアフリー基本構想」に基づく重点整備地区1箇所の整備	1箇所	◎	1箇所
			R5	学校周辺の通学路や交通量の多い道路について歩道を設置するもの。	「秦野市交通バリアフリー基本構想」に基づく重点整備地区1箇所の整備	「秦野市交通バリアフリー基本構想」に基づく重点整備地区1箇所の整備		
#	#	公園課	R4	都市公園等の施設利用者の安全性及び利便性の向上	長寿命化計画に基づいた遊具等改修工事の実施。	都市公園等の計画的な更新	◎	計画的な修繕・更新が実施できた。
			R5	都市公園等の施設利用者の安全性及び利便性の向上	長寿命化計画に基づいた遊具等改修工事の実施。	4か所		
#	#	国県事業推進課	R4	・公共車の低燃費運転(年平均15.50km/ℓ以上)(定期的な車内内の清掃整理、効率的な車両使用)	年間平均燃費目標:15.50/ℓ以上 終礼を実施し、車両使用の効率化・定期的な車内清掃による車両積載量抑制	15.50/ℓ	○	15.19/ℓ
			R5	1効率的な車両利用の徹底2必要最小限な積載重量の徹底	年間平均燃費目標を15.5km/ℓ以上車両使用に係る情報共有の徹底定期的な車内清掃(不要物の廃棄等)	年間平均燃費目標を15.5km/ℓ以上車両使用に係る情報共有の徹底定期的な車内清掃(不要物)		
#	#	会計課	R4	・公共料金事前明細通知サービスの対象拡大、効率的な運用により、伝票事務処理の削減及び出納審査事務の効率化を図る	R4年度対象件数:340件(令和3年度対象件数:338件)	340件	○	312件
			R5	・公共料金事前明細通知サービスの対象拡大、効率的な運用により、伝票事務処理の削減及び出納審査事務の効率化を図る	R5年度新規追加件数20(令和5年4月時点対象件数291件)	R5年度新規追加件数20(令和5年4月時点対象件数291件)		
#	#	経営総務課	R4	市内小中学校での出前講座の開催	出前講座開催数年間目標:7回	7回	◎	10回
			R5	市内小中学校での出前講座の開催	出前講座開催数年間目標7回	出前講座開催数年間目標7回		
#	#	営業課	R4	公共下水道普及促進業務の受託事業者と連携しながら、公共下水道への接続を促進する。	訪問件数目標件数:7,000件	7,000件	◎	9987件
			R5	公共下水道普及促進業務の受託事業者と連携しながら、公共下水道への接続を促進する。	訪問件数目標件数:10,000件	訪問件数目標件数:10,000件		
#	#	水道施設課	R4	配水管路の耐震化を中心とした整備を計画的に行う	基幹管路の耐震化率:46.7%	47%	◎	106%
			R4	漏水箇所の早期発見に努め、安全な水道水を安定供給する。	①漏水調査実施距離当初目標:86.6km ②漏水修理対応率当初目標:100%(対応件数/漏水発見数)	①86.6km ②100%	◎	①86.6km ②100%
#	#	水道施設課	R4	水道法及び同規則等で定められている水質基準の順守と水道水質管理要領で定めた要監視基準値をもとにより安全な水道供給を目指す。	水質基準の順守100% 毎月の水質検査の実施と検査数値の確認	100%	◎	100%
			R5	配水管路の耐震化を中心とした整備を計画的に行う	全管路の耐震化率26.4%	全管路の耐震化率26.4%		
#	#	下水道施設課	R4	漏水箇所の早期発見に努め、安全な水道水を安定供給する。	①空気弁漏水調査実施箇所当初目標:500箇所②漏水修理対応率当初目標:100%(対応件数/漏水発見数)	①空気弁漏水調査実施箇所当初目標:500箇所②漏水修理対応率当初目標:100%(対応件数/漏水発見数)		
			R5	水道法及び同規則等で定められている水質基準の順守と水道水質管理要領で定めた要監視基準値をもとにより安全な水道供給を目指す。	水質基準の順守100%毎月の水質検査の実施と検査数値の確認	水質基準の順守100%毎月の水質検査の実施と検査数値の確認		
#	#	下水道施設課	R4	下水処理の水質管理技術の向上	①放流水BOD値上限:10mg/L ②放流水T-N値上限:15mg/L	①10mg/L ②15mg/L	◎	①10mg/L ②15mg/L
			R5	下水処理の水質管理技術の向上	放流水BOD値上限:10mg/L放流水T-N値上限:15mg/L	放流水BOD値上限:10mg/L 放流水T-N値上限:15mg/L		
#	#	議会事務局	R4	電子化の促進 議員のタブレット端末操作技術のレベルアップ	①全議員(24名)がクラウド上の必要な資料を引き出すことが出来る ②議会内会議参加者資料のペーパーレス化率が90%以上である。	①全議員:24名 ②90%	○	①全議員:24名 ②89.2%
			R5	電子化の促進 議員のタブレット端末操作技術のレベルアップ	全議員(24名)がクラウド上の必要な資料を引き出すことが出来る 議会内会議参加者資料のペーパーレス化率が100%である。	全議員(24名)がクラウド上の必要な資料を引き出すことが出来る 議会内会議参加者資料のペーパーレス化率が100%である。		
#	#	監査事務局	R4	被監査側の業務量の削減	監査結果における指摘件数:14件以内	14件以内	◎	3件
			R5	被監査側の業務量の削減		被監査側の業務量の削減		

令和4年度～5年度 各課等の環境目標及び実績一覧表
 ※ 基準達成度100%以上◎ 80%以上○(適合) 80%未満●(不適合)

課No	部	担当課等	目標	基準となる数値等	目標	実績	判定	備考	
#		教育総務課	R4	小・中学校校舎等照明設備LED化	導入後の使用電力量(全体)削減率 ①小学校:33% ②中学校:54%	削減率 ①33% ②54%	削減ができなかった	●	半導体不足による生産の遅れ等の影響により、一部の器具の調達に時間が掛かり、3月まで未施工箇所を残すこととなった。また、空調使用の増加等の要因もあり、使用電力量は、前年度比で小学校101%、中学校102%となり、削減に至らなかった。
			R5	小・中学校校舎等照明設備LED化に伴う使用電力量の削減	導入後の使用電力量(全体)削減率小学校33%中学校54%	導入後の使用電力量(全体)削減率小学校33%、中学校54%			
#	教育	学校教育課 教職員課	R4	学校給食における残食量	前年比で減少	前年比で減少	減少できず	●	新型コロナウイルス感染症対策の影響で、喫食後のおかわりができない状況があったことが原因として考えられる。引き続き食品ロス対策に取り組んでいく。
			R5	学校給食における残食量	前年比で減少	前年比で減少			
#	部	教育指導課 教育研究所	R4	「エコキッズはだの」推進プロセス	秦野市独自の「エコキッズはだの」に対する理解を深め、事業効果をPRする。事業の実施内容を見直し、ICTの活用も視野に入れた事務負担の軽減を図る。秦野市「環境基本計画」を意識した取り組みとなるよう子どもの意識変容を指標とする。	地域や市民へ広く環境配慮行動が普及されることとなる	園小中が一貫して環境活動に取り組んでいるとともに、PDCAサイクルを盛り込み、活動内容の改善も継続的にしている。	◎	
			R5	「エコキッズはだの」推進プロセス	秦野市独自の「エコキッズはだの」に対する理解を深め、事業効果をPRする。事業の実施内容を見直し、ICTの活用も視野に入れた事務負担の軽減を図る。秦野市「環境基本計画」を意識した取り組みとなるよう子どもの意識変容を指標とする。	年間予定に則った事業の実施			
#		消防総務課	R4	・災害対応能力の向上を図り、災害発生時の受傷事故防止及び被害軽減につなげる。	専科課程、研修への参加回数及び参加人数	①30課程(研修) ②260名	①28課程(研修) ②246名	○	
			R5	災害対応能力の向上を図り、災害発生時の受傷事故防止及び被害軽減につなげる。	専科課程、研修への参加回数及び参加人数	28課程(研修)、246名			
#		警防課	R4	火災件数の削減を目的とした啓発活動 消防団員への研修を実施することにより、災害対応能力の向上を図り、災害発生時の被害軽減につなげる。	啓発活動:7回	7回	7回	◎	
			R4	火災件数の削減を目的とした啓発活動 消防団員への研修を実施することにより、災害対応能力の向上を図り、災害発生時の被害軽減につなげる。	研修会の回数及び研修受講者数 研修会3回、受講者数166名	①年3回 ②166名	①年2回 ②118名	●	台風接近の影響で機関員講習会が未実施であり、当初の受講者数に満たなかった。
#		予防課	R4	防火対象物台帳・危険物施設台帳のスリム化	作業回数(毎月2回) ・防火管理台帳等の整理:2,000件(令和4年度)	2回 2000件	2回 2237件	◎	
			R5	電子申請の推進	・配布したチラシの件数・電子申請の受付件数・消防同意の電子申請受付開始	配布したチラシの件数・電子申請の受付件数 消防同意の電子申請受付開始			
#		情報指令課	R4	火災件数の削減に向けた啓発活動(乾燥・強風時等における火災警戒広報の実施)	本年度、月々の件数を表示(例)4月1件に対し1回実施=1回	2件	2件	◎	
			R5	火災件数の削減に向けた啓発活動(乾燥・強風時等における火災警戒広報の実施)	・本年度、月々の件数を表示(例)4月1件に対し1回実施=100%	100%			
#	消防本部	警備第一課・第二課	R4	各種災害活動から消防活動を安全・確実・迅速に対応し、災害による被害を軽減することを目標とする。	警防訓練月間結果報告書による報告:年4回(四半期毎)	年4回	年4回	◎	
			R4	10代の応急手当講習会受講人数及び応急手当実施率の向上	総合計画はだの2030前期基本計画に準じ、年間受講者数3,000人及び受講者数のうち、10代の受講者数385人と	10代受講者385名	10代受講者674名	◎	
#	消防署	本署	R4	各種災害活動から消防活動を安全・確実・迅速に対応し、災害による被害を軽減することを目標とする。	警防訓練月間結果報告書による報告:年4回(四半期毎)	年4回	年4回	◎	
			R4	10代の応急手当講習会受講人数及び応急手当実施率の向上	総合計画はだの2030前期基本計画に準じ、年間受講者数3,000人及び受講者数のうち、10代の受講者数385人と	10代受講者385名	10代受講者431名	◎	
#	西分署		R4	各種災害活動から消防活動を安全・確実・迅速に対応し、災害による被害を軽減することを目標とする。	警防訓練月間結果報告書による報告:年4回(四半期毎)	年4回	年4回	◎	
			R5	各種災害活動から消防活動を安全・確実・迅速に対応し、災害による被害を軽減することを目標とする。	警防訓練月間結果報告書による報告:年4回(四半期毎)	警防訓練月間結果報告書による報告:年4回(四半期毎)			
#	大根分署		R4	各種災害活動から消防活動を安全・確実・迅速に対応し、災害による被害を軽減することを目標とする。	警防訓練月間結果報告書による報告:年4回(四半期毎)	年4回	年4回	◎	
			R5	各種災害活動から消防活動を安全・確実・迅速に対応し、災害による被害を軽減することを目標とする。	警防訓練月間結果報告書による報告:年4回(四半期毎)	警防訓練月間結果報告書による報告:年4回(四半期毎)			
#	南分署		R4	各種災害活動から消防活動を安全・確実・迅速に対応し、災害による被害を軽減することを目標とする。	警防訓練月間結果報告書による報告:年4回(四半期毎)	年4回	年4回	◎	
			R5	各種災害活動から消防活動を安全・確実・迅速に対応し、災害による被害を軽減することを目標とする。	警防訓練月間結果報告書による報告:年4回(四半期毎)	警防訓練月間結果報告書による報告:年4回(四半期毎)			
#	鶴巻分署		R4	各種災害活動から消防活動を安全・確実・迅速に対応し、災害による被害を軽減することを目標とする。	警防訓練月間結果報告書による報告:年4回(四半期毎)	年4回	年4回	◎	
			R5	各種災害活動から消防活動を安全・確実・迅速に対応し、災害による被害を軽減することを目標とする。	警防訓練月間結果報告書による報告:年4回(四半期毎)	警防訓練月間結果報告書による報告:年4回(四半期毎)			